

平成14年度定期作況報告

5月20日現在
北海道立根釧農業試験場

気象概況

前年11月から本年5月中旬までの気象の経過は、平年に比べておおむね次の通りである。
平成13年

11月：気温は各旬とも平年並であった。降水量は上旬が極めて多く、中旬が極めて少なく、下旬が少なかった。日照時間は上旬がやや少なく、中旬が平年並、下旬がやや多かった。根雪始は11月30日で平年より15日早かった。

12月：気温は上旬が極めて低く、中旬がやや低く、下旬が低かった。降水量は上旬がやや少なく、中旬が平年並、下旬がやや多かった。日照時間は上旬がやや多く、中、下旬が平年並であった。

平成14年

1月：気温は上、中旬が平年並、下旬が高かった。降水量は上旬がやや多く、中旬がやや少なく、下旬が極めて多かった。日照時間は上旬が平年並、中旬がやや多く、下旬がやや少なかった。

2月：気温は上、下旬が高く、中旬が平年並であった。降水量は上、下旬が平年並、中旬が極めて多かった。日照時間は上、下旬がやや多く、中旬が平年並であった。

3月：気温は上旬が平年並、中旬がやや高く、下旬が高かった。降水量は上、下旬がやや少なく、中旬が平年並であった。日照時間は上旬が平年並、中旬がやや多く、下旬がやや少なかった。

4月：気温は上旬が平年並、中旬が高く、下旬がやや高かった。降水量は上旬が平年並、中旬がやや少なく、下旬はやや多かった。日照時間は上、中旬が平年並、下旬がやや多かった。

5月上旬：最低気温は2.1 で平年並であったが最高気温が16.3 で平年より4.7 高かったため、平均気温は9.2 で平年より2.6 高かった。降水量は6mmで平年より40mm少なかった。日照時間は66.7時間で平年より22.7時間多かった。

5月中旬：最高および最低気温が14.4および3.0 でそれぞれ平年並であったため、平均気温は8.7 で平年並であった。降水量は6mmで平年より28mm少なかった。日照時間は49.6時間で平年より6.9時間多かった。

総じて、寒候期は平年に比べ、気温がやや高く、降水量が少なく、日照時間は多く推移した。

季節調査

	平成13年			平成14年				
	初雪 (月日)	根雪始 (月日)	最深積雪 (cm)	2月20日		根雪終 (月日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)
			土壤凍結深 (cm)	積雪 (cm)				
本年	11.4	11.30	103	26	101	4.6	4.8	5.7
平年	11.7	12.15	64	24	49	4.4	4.24	5.8
比較	3	15	39	2	52	2	16	1

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) は減を示す

平成14年度 気象表

年	月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(時間)			
			本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	
13	11	上旬	4.3	4.7	-0.4	9.7	10.3	-0.6	-1.2	-0.9	-0.3	52	16	36	4	4.4	-0.4	34.0	51.9	-17.9	
		中旬	1.4	2.3	-0.9	7.2	7.3	-0.1	-4.5	-2.8	-1.7	0	32	-32	0	4.9	-4.9	42.6	43.8	-1.2	
		下旬	0.5	0.5	0.0	7.4	5.4	2.0	-6.5	-4.4	-2.1	13	35	-22	2	5.2	-3.2	60.6	46.4	14.2	
	12	上旬	-7.3	-2.1	-5.2	-1.5	2.6	-4.1	-13.0	-6.8	-6.2	1	20	-19	2	4.3	-2.3	53.6	41.8	11.8	
		中旬	-6.7	-5.2	-1.5	-1.3	0.1	-1.4	-12.1	-10.4	-1.7	16	16	0	4	3.8	0.2	57.8	52.0	5.8	
		下旬	-8.1	-5.3	-2.8	-2.3	-0.1	-2.2	-13.8	-10.4	-3.4	44	27	17	2	5.4	-3.4	57.9	51.2	6.7	
	14	1	上旬	-5.8	-6.6	0.8	-0.2	-1.2	1.0	-11.4	-11.9	0.5	27	15	12	2	4.2	-2.2	50.8	45.6	5.2
			中旬	-8.8	-7.9	-0.9	-3.3	-2.2	-1.1	-14.3	-13.5	-0.8	6	18	-12	5	4.5	0.5	57.8	45.5	12.3
			下旬	-5.5	-8.7	3.2	-0.5	-2.5	2.0	-10.4	-14.9	4.5	60	16	44	6	4.9	1.1	46.5	60.1	-13.6
2		上旬	-6.6	-9.2	2.6	0.6	-2.9	3.5	-13.8	-15.4	1.6	5	8	-3	1	3.7	-2.7	67.6	56.8	10.8	
		中旬	-7.7	-8.2	0.5	-0.8	-1.9	1.1	-14.6	-14.5	-0.1	58	11	47	6	3.4	2.6	53.8	57.7	-3.9	
		下旬	-4.3	-6.4	2.1	2.6	-0.7	3.3	-11.1	-12.0	0.9	7	11	-4	2	2.4	-0.4	60.9	48.8	12.1	
3		上旬	-5.4	-5.7	0.3	0.9	-0.3	1.2	-11.6	-11.0	-0.6	3	13	-10	4	4.4	-0.4	57.4	61.9	-4.5	
		中旬	-1.5	-3.3	1.8	3.8	1.6	2.2	-6.7	-8.2	1.5	6	12	-6	5	4.4	0.6	68.8	56.4	12.4	
		下旬	0.9	-1.4	2.3	5.2	3.4	1.8	-3.5	-6.1	2.6	28	38	-10	7	4.6	2.4	49.5	62.3	-12.8	
4		上旬	1.9	1.8	0.1	5.8	6.5	-0.7	-2.1	-2.9	0.8	26	27	-1	5	5.1	-0.1	55.8	49.9	5.9	
		中旬	6.9	3.5	3.4	13.4	8.1	5.3	0.4	-1.3	1.7	21	31	-10	7	5.5	1.5	45.0	45.1	-0.1	
		下旬	7.8	5.9	1.9	14.5	11.5	3.0	1.0	0.3	0.7	40	30	10	5	4.8	0.2	69.6	50.4	19.2	
5		上旬	9.2	6.6	2.6	16.3	11.6	4.7	2.1	1.4	0.7	6	46	-40	3	5.2	-2.2	66.7	44.0	22.7	
		中旬	8.7	8.7	0.0	14.4	14.0	0.4	3.0	3.4	-0.4	6	34	-28	3	5.4	-2.4	49.6	42.7	6.9	

備考) データはアメダス観測値(中標津). 平年値は前10ヵ年平均値.

当场作況

1. とうもろこし

作況： -

事 由

本年は雪解け以降圃場の乾燥が順調で、播種床造成に係る機械作業も順調に進んだ。播種期は5月16日で、平年より7日早かった。

品 種 名	播種期（月日）		
	本年	平年	比較
エ マ	5.16	5.23	7

注1) 「平年値」は前7カ年のうち豊凶の平成8および11年を除いた5ヶ年の平均値。

2) は減を示す

3) 当场のとうもろこし作況調査は、これまで品種「ワセホマレ」、「ヒノデワセ」を用いていたが、本年より露地栽培の「エマ」（早生の早：R M75日）を用いることとした。平年値の算出にあたっては、本年と同様の耕種概要で「エマ」が供試された「品種比較試験」もしくは「系統適応性検定試験」の結果を用いた。

2. 牧草

(1)採草型(チモシー・アカクローバ混播)

作況：1番草 やや良

事 由

萌芽期は、チモシーが4月19日、アカクローバが4月16日でいずれも平年より7日早かった。冬損状態は両草種とも平年並であった。5月20日現在の草丈は、チモシーは平年より3cm、アカクローバは平年より8cm高かった。

本年は、融雪後の4月中～5月上旬の高温により、早春の生育が良好であった。したがって、目下の作況はやや良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-5甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ノップ」 2年目	TY	4.19	4.26	7	1.5	1.5	0.0	37	32	5
	RC	4.16	4.21	5	1.5	1.5	0.0	30	20	10
「ノップ」 3年目	TY	4.19	4.26	7	1.5	1.2	0.3	35	34	1
	RC	4.16	4.24	8	2.0	1.6	0.4	25	19	6

注1) TY：チモシー、RC：アカクローバ

2) 平年値：2年目草地は平成8年および12年を除く5か年平均
3年目草地は平成7年および13年を除く5か年平均値

3) は減を示す

(2)放牧型(オーチャードグラス・ラジノクローバ混播)

作況：1番草 やや良

平年並

事 由

萌芽期は、オーチャードグラスが4月19日で平年より9日、ラジノクローバが4月16日で平年より7日早かった。冬損状態は、両草種において、滞水した部分にアイスシート害による枯死が認められたが、その他はほぼ平年並であった。

5月20日現在の草丈は、オーチャードグラスが平年より5cm、ラジノクローバが平年より3cm高かった。

本年は、融雪後の4月中～5月上旬の高温により、早春の生育が良好であった。

したがって、目下の作況はやや良と判断される。

草地	草種	萌芽期(月日)			冬損状態(1-5甚)			5月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「カミドリ」 2年目	OG	4.19	4.28	9	3.0	2.5	0.5	30	25	5
	LC	4.16	4.24	8	1.5	1.9	0.4	16	14	2
「カミドリ」 3年目	OG	4.19	4.27	8	2.0	2.2	0.2	29	24	5
	LC	4.16	4.21	5	1.5	2.3	0.8	16	12	4

注1) OG:オーチャードグラス、LC:ラジノクローバ

2) 平年値: 2年目草地は平成7年および8年を除く5か年平均値

3年目草地は平成11年および13年を除く5か年平均値

3) は減を示す

平成14年度作況調査供試作物、品種および耕種概要

供試作物 および 品種名	1区 面積 (m ²)	施肥量 (kg/10a)				栽植密度				
		堆肥 量	炭 酸	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	畦幅 (cm)	株間 (cm)	播種量・播種株数
1. サイレージ用 とうもろこし 「エマ」	11.5	4,000	200	8+4	20	6+4	2.5	72	18	7,716 本/10a
2. 牧 草 (1) 採草型 TY:「ノサップ」 RC:「サッポロ」	27	4,000	300	7 (1 年 目) 10 (2 ・ 3 年 目)	24	15	9	25 (TY、RC 交互条播)		TY: 800g/10a RC: 800g/10a
(2) 放牧型 OG:「オカミドリ」 LC:「カリフォルニア」	27			同上				散混播		OG:1,500g/10a LC: 300g/10a

- 注) 1)サイレージ用とうもろこしは品種比較試験または系統適応性検定試験の圃場。
 2)牧草は2・3年目草地を調査。採草型は年2回、放牧型は5回(各月1日)の刈取り。
 3)TY:チモシー、RC:アカクロバ、OG:オーチャードグラス、LC:ラジノクロバ